

目 次

<下巻>

第5章. 天象の風景を愉しむ 一月と太陽の「影」と「陰」—	
5-1. 月景の美しさ一月が魅せる—	4
5-2. 日影景の美しさ	14
第6章. 降水の風景を愉しむ 一雨と雪の諸相—	
6-1. 雨景の美しさ	20
6-2. 雪景の美しさ	37
6-3. 置き換えによる景趣の多様化	46
第7章. 机上で風景を愉しむ一頭の中の創景—	
7-1. 風景描写と天気図と地形図と	52
7-2. 思い出と遊ぶ風景創話	54
7-3. 風景漫遊術	60

あとがき

<上巻>

はじめに 一余暇を味わうこと一

第1章. 景観力は人生を豊かにする

1-1. 地方からの景観論

道理の響く風貌の地／「気」を纏う風景浴／景観づくりの点と線／懐かしい「風景の未来」／往来する「食」と「景」／挑みの景観術／創景への送り風

1-2. 景観文化を支える多層性と多様性

県土イメージの形成と享受／地域らしさの再定義から新しい価値の生成へ

1-3. フィールドワークへの招待

第2章. 五感力が風景と出会う

2-1. 視能の精度を高める

2-2. 聴能の最適化を図る

2-3. 触能の領域を広げる

2-4. 嗅能の感度を上げる

2-5. 味能の意味をかみしめる

2-6. 感覚の協働化から風景の味わいへ

第3章. 地域の中で風景を愉しむ

3-1. 日本三景の視覚様式

3-2. 借景と枠取り

3-3. 八景式観賞法

3-4. シークエンス（継起的）体験

第4章. 「時の縁」で風景を愉しむ

4-1. 朝夕の縁相一光の満ち引き

4-2. 夕景の美しさ

4-3. 朝景の美しさ